



平成22年度 水生生物による水質の簡易調査について

～雄物川の2地点で河川環境に関する調査を行いました～

国土交通省では、昭和59年度から沿川の学校、各種団体からのご協力を賜りながら、身近な河川の状態を知り、川への理解や親しみを深めていただくことを目的とした、『水生生物による水質の簡易調査』を行っております。

近年では、この調査に併せて、自分達が見たり触ったりして直接的に感じた水辺の様子について、意見交換を行いながら河川環境の現状を考えてみる取り組みも行われており、今年度は、8月3日に横手市立雄物川中学校のご協力を賜りながら、横手市雄物川町の雄物川橋下流地点で、また8月10日には大仙市立平和中学校のご協力を賜り、大仙市神宮寺の岳見橋上流地点で、それぞれ調査を実施しました。

水生生物調査とは、実際に川の中に生息する水棲昆虫を採取し、河川水の汚れ具合の指標となる生物の数や種類の統計で、その河川の汚れ具合を判別する調査ですが、調査当日は、いずれの箇所でも前日までの降雨による影響のためか、捕れた生物の数や種類が例年より少なく、参加していただいた中学校の生徒さんも大変苦労されたことと想われますが、いずれの箇所でもきれいな水に棲む生物が最も多く採取されたことが確認されました。

また同時に行われたパックテストによる各種の簡易水質分析では、2地点とも特に異常な数値は確認されず、透明度も問題ないことが分かり、雄物川は概ね良好な水質状況であることが確認されました。

これらの調査の最後に、参加していただいた生徒の皆さんによる意見交換が行われ、水辺のゴミの状況や川底の様子、川の水の色や臭いなど、さまざまな項目で意見や感想を出し合うことで、自分達が暮らす地域を流れる雄物川について、再認識をしていただくことが出来ました。



雄物川中学校が参加した調査の様子（8月3日）



平和中学校が参加した調査の様子（8月10日）

この調査が行われた8月3日と10日は、いずれも蒸し暑く、参加された両校の生徒の皆さんも大粒の汗をかきながらの調査となりましたが、川に直接入って、普段なかなか目にすることもないような水棲昆虫を採取したことは、生徒の皆さんにとっても大変貴重な体験になったものと思われまます。

最後に、夏休み中の貴重な時間を割いて、水生生物調査にご参加いただいた、雄物川中学校と平和中学校の生徒の皆さん、また格別なるご配慮を賜りました各中学校の関係者の方々に、この場をお借りして、改めて御礼と感謝を申し上げます。